

## 県立病院事業評価委員会からの評価・提言事項

平成23年8月31日  
県立病院事業評価委員会

### ◎ 総括的評価

平成22年度決算見込みについては、「第一期宮崎県病院事業中期経営計画」の単年度黒字化の収支目標の達成は難しかったものの、計画当初約31億円余であった赤字が約4億円程度にまで圧縮することとなり、一定の評価は出来る。

今回の決算見込みは、診療報酬改定の影響も大きいものの、施設基準の積極的な取得、DPC導入効果等収益確保の取組みや地道な経費節減の取組み等これまでの成果がようやく実を結ぼうとしているものと考えられる。

今後とも、3県立病院それぞれの特色を出しながら、県民医療の確保のために努力していただきたい。

### ◎ 個別の提言等

#### 1 病児等保育

平成22年10月より宮崎病院で開始した病児等保育については、働く女性にとって非常に有効な施策であり、延岡病院、日南病院へも波及するようさらに積極的に取り組んでいただきたい。

#### 2 経費節減

後発医薬品の採用の推進や診療材料の価格削減に精力的に取り組まれているが、今後とも、提供する医療の質や医師等医療スタッフのモチベーション等とのバランスをとりながら進めていただきたい。

#### 3 看護師確保

良い医療を提供するためにも看護師確保は重要であるので、今後とも県立看護大学等とも連携を図りながら、積極的に取り組んでいただきたい。

#### 4 収益確保

○ 増収に大きな効果をもたらす施設基準については、積極的に取得するよう取り組んでいただきたい。

○ 延岡病院が地域との連携を図ることにより診療単価が高くなっている状況があるが、宮崎病院においては、県の中核的医療機関であるので、もっと積極的に地域の医療機関との連携を深めていただきたい。